

## ☆丘珠四季報・秋～長い冬を前に☆

丘珠空港長 濱崎 孝弘

◆今年の夏は北海道らしからぬ暑い日々が続き、秋口も例年と比べて温暖に推移してきましたが、ここに来てめっきり冷え込んできました。稚内・旭川では既に初雪も観測し、これからの長い冬を間近に控えた北海道、その中心都市札幌に所在する丘珠空港から皆様に御挨拶をさせていただきます。◆「北の都」札幌の空の玄関口と言いますと、全国的には新千歳空港ですが北海道内向けには丘珠空港があります。札幌と道内都市とを結ぶ当空港は、札幌市中心部から北東に直線距離で約6 km、札幌駅から連絡バスで30分、タクシーなら20分という、立地条件が非常によい場所に位置しています。◆当空港は防衛庁が設置管理者であり、滑走路・誘導路・管制施設等、空港の基本施設の大半は防衛庁の所管です。国土交通省所管部分は、ターミナルビル部分、民間航空機が駐機するエプロン部分、空港駐車場など、一般に民航地区と言われる部分に限られており、空港総面積の88%は防衛庁所管となっています。防衛庁告示で札幌飛行場と称されている当空港は、陸上自衛隊丘珠駐屯地のヘリコプターの訓練飛行場として使用されていると共に、民間航空機の定期便も運航しています。こういった空港は共用飛行場と呼ばれており、北海道内では当空港だけです。11月現在で就航している路線は2社5路線19便で、全て道内便の運航となっております。札幌市中心部からの便のよさもあり、利用者は道内出張のビジネス客が大半を占めています。これら民間

航空機や自衛隊機以外にも、消防・防災及び警察のヘリコプターが常駐しており、救難・防災基地として、また航空機使用事業の小型機等も常駐しており、国土測量や報道取材、あるいは写真撮影や遊覧飛行といった、小型機等を使用した様々な業務の拠点として利用されています。◆札幌と言えば雪祭りで有名なくらい降雪量が多い都市ですが、当空港の所在する丘珠地区は札幌の中でも特に雪が多く降る地域です。17年度の累計降雪量は694cmと、大雪だった16年度の686cmを越える量となりました。道内の主要空港と比較しても、丘珠空港は飛び抜けて多い降雪量となっています。当然除雪の回数も多く、昨年度は65回、16年度ではなんと79回（ほぼ3日に2回！）の除雪回数を誇ります。



ある日の除雪風景

◆このように冬期間は北海道らしく厳しい環境となります。夏が暑い年は冬に雪が多くなる、との定説(?)もありますので、「今年はどうなることか・・・」、「せめて例年並みの降雪量で・・・」と早くも気をもんでいるところです。

◆これから始まる長い冬を前に、現在冬期間における航空機の安全運航について、最大限の努力をすべく国の職員や航空会社、空港ビル等、空港に所在する多くの関係者が知恵を出し、額に汗をかいております。そして我々空港

関係者が願うことは、この冬も皆様を乗せた飛行機が何事もなくこの地丘珠へ降り立ち、大切な御用事を終えた後、ふと心に残るいい空港であり続けられと・・・◆以上、簡単に丘珠空港の紹介をさせて頂きました。羽田空港や新千歳空港といった大規模空港とは一味も二味も違う当空港に是非お越し頂き、道内移動の拠点として当空港をご利用頂けることを心よりお願い申し上げます。

### 【丘珠空港発着定期便】

1. 運航会社      (1) (株)エアーニッポンネットワーク (AKX)  
                    (2) (株)北海道エアシステム (NTH)
  
2. 路      線      (1) 函 館    7往復 (AKX／5往復、NTH／2往復)  
                    (2) 釧 路    6往復 (AKX／3往復、NTH／3往復)  
                    (3) 中標津    3往復 (AKX)  
                    (4) 女満別    2往復 (AKX)  
                    (5) 稚 内    1往復 (AKX)